

平成16年(行ウ)第15号 公金支出差止等請求住民訴訟事件

原告 市民オンブズパーソン板木 外2名

被告 宇都宮市長 佐藤栄一 外1名

## 証拠説明書 9

2008(平成20)年7月15日

宇都宮市地方裁判所 第2民事部合議系 御中

原告ら代理人 弁護士 大 木 一 俊

号証	証拠の標目(原本/写し)	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲62	意見書(1) /原本	2008.03.17	嶋津暉之	宇都宮市上下水道局の水需要予測が非科学的であること、保有水源の評価が恣意的であること等
甲63	意見書(2) /原本	2008.03.31	嶋津暉之	鬼怒川治水計画に取って湯西川ダムが不要であること等
甲64	湯西川ダムの環境面から見た問題点と環境影響評価に関する意見書/原本	2008.05.08	高松健比古	湯西川ダムに関する1985年の環境アセスメントは極めて不十分な内容であること、その後の調査で、湯西川ダム予定地は生物多様性に満ちており、生物多様性条約、種の保存法に反するダム計画は中止されるべきであること等

甲65	宇都宮市水需要予測 ／写し	2003.03	宇都宮市水道局	宇都宮市上下水道局の水需要予測が 非科学的であること等
甲66	補充意見書 ／原本	2008.07.07	嶋幸暉之	宇都宮市上下水道局の有収率は利根 川流域の他の大きな水道事業と比較 しても低い値であること、紫外線消 毒装置は地下水のクリプトスポリジ ウム対策として有効かつ安価で、佐 野市でも導入を決定していること等
甲67	水道ビジョン(抜粋) ／写し	2004.06	厚生労働省健康 局	有効率の目標として、大規模事業で は98%以上としていること。